

ガス使用機器のメンテナンスに対する不安を払拭され、
関電ガスをご採用。



株式会社野村鍍金さま

**産業用巨大ロールなどのめっき処理工程で多くの電気とガスを使用する株式会社野村鍍金さま。
エネルギーコストの低減は経営上の命題の一つであります。**

業務の性質上、電気代・ガス代の低減は経営上の命題の一つです

弊社は主に産業用ロールを製造しており、この設計・製造から各種表面処理加工まで自社で一貫して取り扱っています。表面処理加工においては耐摩耗性を要求される場合が多く、硬質クロムめっきがメインになります。このめっき処理をする際に必要になるのが、大電流です。めっき槽の温度を一定にするために温水、冷水が必要なのですが、これはガスボイラーとガスで冷水を造るGHPチラーを使っています。

ですので、**当社にとっては会社の利益と電気代・ガス代は直結していますので、いかに節約していくかは、昔からの重大テーマでした。**



大阪工場 課長
大白 眞さま



大阪工場 係長
松本 真哉さま

ガス使用機器のメンテナンス会社が変わっても、何の問題もありませんでした

2016年頃、電気契約を別の会社に切り替えたんですが、翌年にはまた関西電力さんに戻しました。これは電気の提案とガスも提案いただいたからです。コストメリットのあるとてもよい提案だと感じましたが、気になったのは、ガス使用機器のメンテナンスのことでした。金網入り窓ガラスの、金網へのめっきも弊社の製品のひとつなのですが、その製造ラインの最後に、金網をガスで乾燥させる工程があります。そのガス乾燥炉は年に1度の定期点検と

法令点検が必要で、それらはすべて、それまで契約していたガス会社さんをお願いしていました。

しかし、ガス会社の切り替えとともに、メンテナンス会社も変わること、安心してお任せできるのか不安があり、いろいろと検討を繰り返しました。

最終的に関電ガスさんにした決め手は、コストと、関西電力の営業さんの熱心さと対応力。

心配していたメンテナンスについても杞憂に終わりました。新しいメンテナンス会社の方がガス使用機器を見に来られたときの話しぶりなどからも、機器についてよくご存知であることがわかりましたし、契約以降、現在まで何の問題もありませんでした。



大阪工場 工場長
大野 充さま

関電ガス ご採用後の料金比較 (切替前を100とした場合)



※ガス使用実績(2018年2月~2019年1月)に基づき算出しました。
※消費税相当額を含み、原料費調整額は含みません。

電気とガスも関西電力さんにして、設備改修の相談もしやすくなりました

2018年に、GHPチラーをEHPチラーに改修しました。めっき処理を行うめっき液は温水や冷水で温度管理をしています。その際に冷水を造るのに使うのがGHPチラーです。弊社にはGHPチラーが5台あり、長年使っていましたから2018年あたりが時期的にちょうど更新が必要なタイミングだったんです。

関西電力さんに相談したところ、提案いただいたのが、電気式EHPチラーでした。いろいろと比較検討しましたが、一番不安に感じたのは、電気デマンドです。弊社は業務の性質上、大容量の電気を使いますから、デマンドが上がらないか心配だったんです。しかしその点もクリアになり、ゆくゆくはEHPチラーのほうがコストメリットがでると判断して、5台中2台を、EHPチラーに改修しました。

電気もガスも関西電力さんと契約しているのので、設備改修するときエネルギー源を電気とガスのどちらにすべきか関西電力さんに相談できるのは、非常に助かります。

EHPチラーに改修したことで、省エネ法に関わるCO₂削減にも大いに役立っているのので、その面でも助かっています。



今後も電気・ガス料金をさらに低減できるような提案をいただきたい

関西電力の営業さんは、こまめに熱心に足を運ばれているなという印象があります。

契約を交わした後はパタンと来られなくなる会社さんも多いのですが、関西電力さんは契約後も、特に連絡しなくても、数ヶ月ごとに「こんな効果がでました」というようなフォローもしていただけます。そういった話を聞いて「ああ効果がでていたのか」と気づかされることも多いです。弊社の業務内容をしっかりと理解した上で、契約後も「よりよい提案をしたい」という協力的な姿勢を感じます。

実は今、弊社のすべての工場の職場環境を整えようと、空調の整備を検討しています。こちら、関西電力さんにもご協力いただきつつ、検討していければと思っています。



担当者のコメント



関西電力
大阪北法人営業本部
営業グループ
(左) 塩屋リーダー
(右) 中井担当

野村鍍金さまには、当社の電気・ガスをご採用いただき、コスト削減に貢献できたことを非常に嬉しく思っております。当社がご紹介した新たなメンテナンス会社の技術力を認めていただき、不安も払拭いただけたので良かったです。今後もエネルギーを基本とした様々なコスト削減のご提案をさせていただき、ビジネスパートナーとしての役割を担えるよう努めてまいります。

株式会社野村鍍金さま

1916年に野村鍍金工場として創業。フィルム用、大型ロールや新聞輪転機で使われる印刷シリンダー他、製鉄・電池・原子力・研究所向けの製品などの設計・製造。また、金網入りガラスの金網めっきなど幅広く手がける。研究開発も盛んで、会社が保有する特許件数は44件(2018年3月現在)にのぼる。

